

◆ 平成29年度決算について ◆

経理部経理課

平成29年度決算について、監査法人の厳格な監査を受けたのち、5月24日に開催された学園理事会及び評議員会において承認されましたので、その概要をお知らせします。

平成29年度は、埼玉医療センターの新棟が完成し、新棟開院に伴う機器備品等の整備及びオーダリングシステム等の更新についても並行して行いました。大学病院においては、放射線治療の需要の拡大に伴いライナック棟新築工事に着工し、震災等の災害時における病院機能維持を目的とした耐震補強工事（6期目）と本館病棟の空調設備リニューアル工事を併せて行いました。日光医療センターにおいては、医療機器等の整備及び部門システム等の更新を行いました。医科大学では、教育研究・実習用機器備品の整備を行いました。また、資金繰りにおいて、特定資産の一部取崩し等により支払資金を捻出しました。

本学では、ここ数年において基本計画に基づく大型施設事業が重なって行われてきたこともあり、予算編成時から厳しい財政環境が想定されていました。そんな状況下で、医療収入は何とか予算を達成することができましたが、医療経費が予想をはるかに上回る額となったことから、その他の一般経費や人件費の削減の努力をしたにもかかわらず、残念ながら、最終的に基本金組入前当年度収支差額（事業活動収入－事業活動支出）は、△11百万円で、予算の7億54百万円に対して大幅なマイナスとなり、平成19年度以来の赤字決算という厳しい結果となりました。教職員の皆様にはこのような現状をご理解いただき、更なる経費削減に努め、今期（平成29年度）のみの1年で、赤字より脱却し黒字転換を図れるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

以下、事業概要及び事業活動収支・資金収支計算書を掲載し、特に目立った動きを中心に簡潔に説明します。

■ 事業概要

* 差異＝予算－実績（マイナス表示は予算超過を表しています）

（単位 百万円）

29年度事業内容	結果・備考等	29年度予算	実績	差異
《医科大学》				
1. 教学関係				
① 医学部				
1) 全国共用試験	1) OSCE: 模擬患者を相手とする実技試験の実施 CBT: コンピューターによる医学知識試験の実施	4.3	4.8	－0.5
2) 早期医学・地域医療体験	2) 期間集中型科目「コミュニティーヘルスインターンシップ」「アドバンスドコミュニティーヘルスインターンシップ」の開設、本学附属病院や学外の福祉施設等での体験学習の実施	1.8	1.9	－0.1
3) 学生の海外研修	3) 学内試験選抜の学生の海外大学病院等における約2週間の見学実習の実施	13.5	13.0	0.5
4) 医師国家試験対策合宿	4) 5・6年生を対象に、卒業試験・医師国家試験の合格に向けて、短期集中合宿を実施	8.3	7.8	0.5
5) 国際交流等の拡充・充実	5) 国際交流の拡充や支援、海外大学との提携等の検討、海外視察の実施	2.7	1.1	1.6
6) がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	6) 本学を含む国公私立8大学の共同申請による「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」に参加	6.8	5.0	1.8
7) 国際交流推進	7) 海外の大学・教育研究機関等との交流、国際協力事業の推進	9.0	4.5	4.5
8) 出席管理システム導入	8) 講義毎の出席確認を出席票による記入方式からICカード認証方式に変更	6.5	0	6.5
② 看護学部				
1) 実習関係	1) ふれあい実習、基礎看護学実習Ⅰ～Ⅱ、健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅰ～Ⅶ、健康看護支援論実習(公衆衛生)、総合実習の実施	8.2	7.7	0.5
2) 看護学部開設10周年記念事業	2) 看護学部開設10周年記念式典・記念講演・記念祝賀会の举行、記念誌の発刊	6.3	6.9	－0.6

3) 国家試験対策	3) 国家試験対策コーナー等の環境整備、模擬試験・特別講義等の実施	4. 0	3. 2	0. 8
4) 学生海外研修	4) 海外(フィリピン)での1週間程度の実習の実施	2. 3	2. 4	－0. 1
5) 成績管理システム更新・保守(学部)	5) 看護学部における成績管理システムのカスタマイズと保守契約締結	2. 8	1. 4	1. 4
2. 施設・設備関係				
1) 臨床医学棟機械室空調機・還気・排気機更新	1) 処置実験室・電顕室・恒温無菌室系統の機器更新	105. 0	0	105. 0
2) 大学建物維持保全整備	2) 建物維持保全整備	95. 0	68. 9	26. 1
3) 30周年記念館屋上防水(2/2期)	3) 屋上防水層の修繕工事	30. 0	30. 0	0
4) 土地購入	4) 地主要請による借地買収	20. 0	0	20. 0
5) 30周年記念館照明器具更新	5) LED照明器具への更新工事	10. 0	1. 8	8. 2
6) 臨床医学棟照明器具更新(1/2期)	6) LED照明器具への更新工事	10. 0	0	10. 0
7) 関記念学生館退寮後空調機更新工事	7) 空調機の更新	10. 0	8. 5	1. 5
8) 看護学部棟2階講義室増設に伴う改修工事	8) 黒板、AV機器の新設及び洗面台の撤去	10. 0	10. 2	－0. 2
9) 教育研究・実習用機器備品	9) 教育研究・実習用機器備品の整備充実	418. 1	216. 2	201. 9
10) 図書	10) 教育研究用図書の整備充実	42. 6	28. 4	14. 2
3. 管理運営関係				
1) 看護師確保対策	1) 合同病院説明会への参加、就職説明会や病院見学会の実施	10. 3	10. 7	－0. 4
2) 図書館入退館ゲート更新	2) 入退館一体型のフラッパーゲートの導入、ネームカード・学生証のIC化に対応	6. 6	4. 5	2. 1
3) 遺体移送車購入及び改造	3) 遺体移送車の購入及び、遺体移送車に架台を設置し、寝台型霊柩車へと改造	5. 8	6. 0	－0. 2
4) 施設課システム改修	4) 減価償却システムや支払予算表システムのカスタマイズの実施	5. 0	0. 7	4. 3
5) ナーシングスキル日本語版導入	5) 看護基礎から臨床まで統一された「看護基準」を常時参照可能な環境の提供	4. 5	5. 0	－0. 5
《大学病院》				
1. 医療活動関係				
1) 統合医療情報システム	1) 電子カルテシステム、PACSシステムの維持管理	549. 5	553. 5	－4. 0
2) 栃木県ドクターヘリ事業	2) ドクターヘリ運航業務の委託他	250. 6	245. 5	5. 1
3) 院内助産所新設に伴う機器の整備他	3) 院内助産所新設に伴う機器備品の購入他	43. 0	26. 6	16. 4
4) 医療安全推進事業	4) 講演会などの啓蒙活動、医療事故報告の管理・分析、リスクマネジメント業務の推進他	10. 2	12. 3	－2. 1
2. 施設・設備関係				
1) 中央材料部移転工事	1) 移転工事(移転工事、設計・監理費)	920. 0	0	920. 0
2) ライナック棟新築工事	2) 新築工事(新築工事、設計・監理費)	815. 0	301. 0	514. 0
3) 本館耐震工事(6/7期)	3) 耐震補強工事(耐震工事、設計・監理費)	511. 5	347. 6	163. 9
4) 院内助産所整備工事	4) 整備工事(整備工事、設計・監理費)	440. 0	235. 4	204. 6
5) 本館病棟空調設備リニューアル工事(3/4期)	5) 空調設備更新工事(更新工事、設計・監理費)	311. 0	310. 8	0. 2
6) 医療設備機器整備	6) 診療機器、検査機器の新規・代替購入	600. 0	600. 0	0
7) 材料部移転に伴う設備機器更新	7) 材料部移転に伴う機器備品および什器の購入	380. 0	0	380. 0
8) アンギオ(血管撮影)CT装置導入	8) アンギオ(血管撮影)CT装置の購入	285. 0	279. 7	5. 3
9) PET-CT装置更新	9) PET-CT装置の経年劣化による更新	210. 0	199. 4	10. 6
10) 臨床研修機器整備	10) 臨床研修用機器、OA機器の購入	50. 0	50. 0	0

《埼玉医療センター》				
1. 医療活動関係				
1) 医療情報システムの充実	1) 電子カルテシステムの維持・管理	595.0	587.9	7.1
2) 薬剤SPD業務委託	2) 薬剤配送及び補助委託業務	101.1	15.4	85.7
3) 新棟カーテン購入	3) 新棟開院に伴うカーテンの購入	60.7	3.7	57.0
2. 施設・設備関係				
1) 新棟建設工事及び関連工事	1) 新棟建設工事及び関連工事 (事前改修工事、建設工事、設計料、LAN工事、 ナースコールシステムサーバー更新、音響システム 工事、TV会議システム工事、内線電話設置工 事)	9,137.9	9037.0	100.9
2) 中央監視装置更新(4/4期)	2) 中央監視装置更新工事	60.0	54.6	5.4
3) 瓦曽根寮補修工事	3) 補修工事(外壁補修・塗装工事、屋上防水工 事)	57.5	0	57.5
4) 新棟設備機器整備	4) 新棟開院に伴う機器及び什器備品等の整備	2,800.0	2,423.0	377.0
5) オーダリングシステム更新	5) オーダリングシステムのリース機器導入及び更新	1,138.3	862.1	276.2
6) ベッド及びベッド回り備品更新	6) ベッド及びベッド回り備品更新	682.1	0	682.1
7) 医療設備機器整備	7) 医療設備の購入、経年劣化による代替購入、最 新医療機器の購入	250.0	233.5	16.5
8) 放射線機器整備	8) デジタルガンマカメラ他更新	250.0	250.0	0
《日光医療センター》				
1. 医療活動関係				
1) 業務の外注化	1) 施設管理、医事業務、検体検査、給食、情報処 理業務の外部委託	255.8	255.3	0.5
2) 医療情報システムの充実	2) 電子カルテシステム及び部門システムの維持・ 管理	153.3	151.2	2.1
3) 電子カルテシステムの改定	3) 看護管理及び薬剤管理システムの変更	3.7	2.0	1.7
4) 診療報酬改定に伴うシステム変更	4) 医事システム及び電子カルテシステム等の変更 作業	3.2	2.1	1.1
2. 施設・設備関係				
1) 受水槽更新工事	1) 受水槽更新工事	20.0	0	20.0
2) 放射線部エアコン更新工事	2) 放射線部パッケージエアコン更新工事	12.2	6.5	5.7
3) 火報盤更新工事	3) 火報盤更新工事	10.8	0	10.8
4) ナースコール更新工事	4) ナースコール更新工事	9.1	7.9	1.2
5) 医療設備機器整備	5) 診療機器、検査機器の新規・代替購入	130.0	104.8	25.2
6) 輸液ポンプ・シリンジポンプ更新	6) 輸液ポンプ・シリンジポンプの更新	39.2	31.9	7.3
7) 病院群輪番制病院設備整備補助 事業	7) 補助循環用バルーンポンプ駆動装置及び助細 動器の購入	30.2	20.4	9.8
《看護専門学校壬生校》				
1. 教学関係				
1) 実習関係	1) 各領域において3週間1クールとして病院や施設 での実習を実施	3.3	3.1	0.2
2) 専任教員の研修・研究	2) 学内外の研修会や研究会への参加	1.4	1.5	-0.1
3) 全国模擬試験	3) 看護師国家試験の模擬試験の実施	1.1	0.9	0.2
2. 施設・設備関係				
1) 無線環境整備(1F～2F)	1) 学内に無線LANを導入	8.8	0	8.8
2) 分電盤更新工事	2) IL-分電盤の更新工事	2.8	1.8	1.0
3. 管理運営関係				
1) 看護学生募集パンフレット制作	1) パンフレット・ポスターの作成	2.5	2.6	-0.1

《看護専門学校三郷校》				
1. 教学関係				
1) 実習関係	1) 基礎Ⅰ、小児Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ、成人、小児Ⅱ、精神、母性、在宅、統合実習の実施	1. 5	1. 3	0. 2
2) 外部講師による特別講演の実施	2) 外部講師による接遇教育の実施	1. 0	0. 4	0. 6
3) 宿泊学習の実施	3) 宿泊学習や医科大学施設等の見学の実施	0. 7	0. 5	0. 2
2. 施設・設備関係				
1) 図書購入	1) 年次計画による図書(1, 000冊)の購入	3. 0	2. 8	0. 2
3. 管理運営関係				
1) 学校パンフレット制作	1) パンフレット・ポスターや入学試験募集要項の作成	2. 3	2. 5	－0. 2

■ 事業活動収支計算書の概要

平成29年度決算につきまして、事業活動収支計算書より説明いたします。（資料1）

「事業活動収支計算書」は企業会計という損益計算書に相当するものです。経常的な収支（1. 教育活動収支と2. 教育活動外収支）と臨時的な収支（3. 特別収支）に区分される「区分経理」が導入されたことにより、経常的な収支バランスと臨時的な収支バランスが区分して把握できるようになっています。したがって、教育活動収支差額と教育外収支差額を合計したものが、**経常収支差額**となります。

1. 教育活動収支

【 教育活動収入の部 】

● 学生生徒等納付金（構成比6.2%）

医学部、大学院医学研究科、看護学部、大学院看護学研究科、助産学専攻科、看護専門学校壬生校、看護専門学校三郷校の学生生徒納付金収入総額が、予算比89百万円（1.7%）増の54億66百万円となりました。

● 寄付金（構成比1.0%）

予算比2億93百万円（24.3%）減の9億11百万円となりました。

● 経常費等補助金（構成比2.9%）

予算比3億51百万円（12.0%）減の25億74万円となりました。

● 医療収入（構成比87.7%）

3病院（大学病院・埼玉医療センター・日光医療センター）の医療収入の総額は、予算比7億91百万円（1.0%）増の768億58百万円となりました。

- ・大学病院 : 446億89百万円
- ・埼玉医療センター : 272億25百万円
- ・日光医療センター : 49億44百万円

【 教育活動支出の部 】

● 人件費（構成比38.7%）

予算比6億84百万円（2.0%）減の339億32百万円となりました。

教員人件費は、89億52百万円、職員人件費は、232億64百万円、退職給与引当金繰入額は17億16百万円となりました。

● 教育研究経費（構成比57.3%）

予算比19億33百万円（4.0%）増の501億83百万円となりました。

このうち医療経費（構成比38.3%）は、3病院総額で予算比24億66百万円（7.9%）増の335億42百万円となりました。

- ・大学病院 : 209億35百万円（医療経費率48.5%）
- ・埼玉医療センター : 112億54百万円（医療経費率40.0%）
- ・日光医療センター : 13億53百万円（医療経費率27.7%）

また、一般経費は、予算比4億81百万円（4.5%）減の101億64百万円となりました。

減価償却費は、予算比52百万円（0.8%）減の64億77百万円となりました。

● 管理経費（構成比3.4%）

予算比2百万円（0.1%）増の29億78百万円となりました。

このうち一般経費は、予算比2百万円（0.1%）増の24億30百万円となりました。

減価償却費は、予算どおりで5億48百万円となりました。

- 徴収不能額等（構成比 0.07%）

徴収不能額引当金繰入額は、予算比 37 百万円（38.1%）減の 60 百万円となりました。

2. 教育活動外収支

【 教育活動外収入の部 】

- 受取利息・配当金（構成比 0.1%）

予算比 5 百万円（10.0%）増の 55 百万円となりました。

【 教育活動外支出の部 】

- 借入金等利息（構成比 0.05%）

予算比 8 百万円（16.0%）減の 42 百万円となりました。

3. 特別収支

【 特別収入の部 】

- その他の特別収入（構成比 0.4%）

予算比 21 百万円（6.0%）増の 3 億 70 百万円となりました。

内訳は現物寄付が予算比 45 百万円増、施設設備補助金（国庫）が 59 百万円減、施設設備補助金（地公体）が 8 百万円増となっています。

【 特別支出の部 】

- 資産処分差額（構成比 0.15%）

予算比 10 百万円（8.0%）増の 1 億 35 百万円となりました。

- 法人負担金（構成比 0.3%）

予算比 8 百万円（2.5%）減の 3 億 6 百万円となりました。

以上、3つの活動区分の合計の事業活動収入は、予算比 4 億 11 百万円（0.5%）増の 8 7 6 億 3 4 百万円となりました。

一方、事業活動支出は、予算比 1 1 億 7 6 百万円（1.4%）増の 8 7 6 億 4 5 百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は、予算比 7 億 6 5 百万円（101.5%）減の 11 百万円の支出超過（赤字）となりました。なお、事業活動収支差額比率はマイナス 0.01%となりました。

また、内部留保額（基本金組入前当年度収支差額＋減価償却額＋資産処分差額）は、予算比 8 億 7 百万円（10.1%）減の 7 1 億 4 9 百万円となりました。

■ 資金収支計算書の概要

次に、資金収支計算書について説明します。（資料２）

資金収支計算書は、当該会計年度のすべての収入・支出の内容並びに支払資金の収入・支出の顛末を明らかにした計算書になります。

事業活動収支計算書に計上されていない「借入金収入」「前受金収入」「借入金等返済支出」「施設関係支出」「設備関係支出」「資産運用支出」等が資金の収入・支出を伴うため計上されています。

以下、事業活動収支計算書と重複するものを除いて主な項目について説明します。

【 収入の部 】

● 借入金等収入

埼玉医療センター新棟建設資金として、新たに６０億円を借入れしました。

【 支出の部 】

● 借入金返済支出

市中金融機関からの長期借入金の約定償還は１８億円となりました。

● 施設関係支出

予算比２１億３７百万円（１６．２％）減の１１０億４７百万円となりました。

主なものは、

【大学病院】の本館耐震工事３億４８百万円、空調設備リニューアル工事３億１１百万円、ライナック棟新築工事３億１百万円、院内助産所整備工事２億２１百万円

【埼玉医療センター】の新棟建設工事（当年度支払分）７９億４９百万円、新棟関連工事９億９６百万円、中央監視装置更新５３百万円

● 設備関係支出

予算比２２億７０百万円（２９．０％）減の５５億６１百万円となりました。

内訳は教育研究機器備品 が予算比２２億２０百万円減の５４億８４百万円となりました。

主なものは、

【大学病院】医療設備６億円、アンギオＣＴ装置２億８０百万円、ＰＥＴ－ＣＴ装置１億９９百万円

【埼玉医療センター】医療設備２億３４百万円、放射線機器整備（ガンマカメラ他）２億５０百万円、新棟設備機器整備２４億２３百万円、オーダーリングシステム更新８億６２百万円

【日光医療センター】医療設備１億５百万円

管理用機器備品 が予算比２７百万円減の２７百万円となっています。

● 資産運用支出

決算額は４０億円となりました。

内訳は第３号基本金引当特定資産が１０億円、退職給与引当特定資産が３０億円となっています。

その結果、翌年度繰越支払資金は予算比９４百万円（１．２％）減の７５億９８百万円となりました。

最後に

今年度は予算を大幅に下回り、赤字決算という非常に厳しい結果となりました。

今後も景気動向は不透明であり、消費税増税予定時期も近づいていることから、私立医大を取り巻く状況は厳しさが続くと思われます。このような環境の中で生き残っていくためには、経営の安定が最重要課題であります。その課題をクリアするためには、全学をあげて収入増と経費節減をより一層推進し、黒字確保に取り組むことが肝要です。

なお、獨協学園の決算、事業報告書については、獨協学園のホームページ<http://www.dac.ac.jp/>をご覧ください。

平成29年度事業活動収支計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円)

年 度			平成29年度 予 算 額	平成29年度 決 算 額	差 異	備考
科 目						
教育活動収支	収入	学 生 生 徒 等 納 付 金	5,377	5,466	△ 89	
		手 数 料	196	212	△ 16	
		寄 付 金	1,204	911	293	
		経 常 費 等 補 助 金	2,925	2,574	351	
		(国 庫 補 助 金 収 入)	(2,347)	(1,892)	(455)	
		(地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入)	(576)	(681)	(△ 105)	
		(そ の 他 補 助 金 収 入)	(2)	(1)	(1)	
		付 随 事 業 収 入	398	469	△ 71	
		医 療 収 入	76,067	76,858	△ 791	
		雑 収 入	647	675	△ 28	
	教 育 活 動 収 入 計 A	86,814	87,165	△ 351		
	支出	人 件 費	34,616	33,932	684	
		教 育 研 究 経 費	48,250	50,183	△ 1,933	
		(医 療 経 費)	(31,076)	(33,542)	(△ 2,466)	
		(一 般 経 費)	(10,645)	(10,164)	(481)	
		(減 価 償 却 費)	(6,529)	(6,477)	(52)	
		管 理 経 費	2,976	2,978	△ 2	
		(一 般 経 費)	(2,428)	(2,430)	(△ 2)	
		(減 価 償 却 費)	(548)	(548)	(0)	
		徴 収 不 能 額 等	97	60	37	
教 育 活 動 支 出 計 B		85,939	87,153	△ 1,214		
教 育 活 動 収 支 差 額 C(A-B)			875	12	863	
教育活動外収支	収入	受 取 利 息 ・ 配 当 金	50	55	△ 5	
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0	
		教 育 活 動 外 収 入 計 D	50	55	△ 5	
	支出	借 入 金 等 利 息	50	42	8	
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	
		教 育 活 動 外 支 出 計 E	50	42	8	
		教 育 活 動 外 収 支 差 額 F(D-E)	0	13	△ 13	
経 常 収 支 差 額 G(C+F)			875	25	850	
特別収支	収入	資 産 売 却 差 額	0	35	△ 35	
		そ の 他 の 特 別 収 入	349	370	△ 21	
		(うち 現 物 寄 付 金)	(41)	(86)	(△ 45)	
		(うち施設設備補助金・国庫)	(59)	(0)	(59)	
		(うち施設設備補助金・地公体)	(241)	(249)	(△ 8)	
		(うち過年度修正額)	8	35	△ 27	
		法 人 負 担 金 収 入	10	9	1	
	支出	特 別 収 入 計 H	359	414	△ 55	
		資 産 処 分 差 額	125	135	△ 10	
		そ の 他 の 特 別 支 出	1	9	△ 8	
		法 人 負 担 金 支 出	314	306	8	
		特 別 支 出 計 I	440	450	△ 10	
		特 別 収 支 差 額 J(H-I)	△ 81	△ 36	△ 45	
		(予 備 費) K	40	0	40	
基本金組入前当年度収支差額 L(C+F+J-K)			754	△ 11	765	
基本金組入額合計 M			△ 7,676	△ 6,282	△ 1,394	
当年度収支差額 N(L+M)			△ 6,922	△ 6,293	△ 629	
前年度繰越収支差額 O			△ 91,687	△ 91,273	△ 414	
基本金取崩額 P			0	940	△ 940	
翌年度繰越収支差額 Q(N+O+P)			△ 98,609	△ 96,626	△ 1,983	
参考	事業活動収入計(A+D+H)		87,223	87,634	△ 411	
	事業活動支出計(B+E+I+K)		86,469	87,645	△ 1,176	

平成 2 9 年度資金収支計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円)

年 度		平成29年度 予 算 額	平成29年度 決 算 額	差 異	備 考
科 目					
収入 の 部	学生生徒等納付金収入	5,377	5,466	△ 89	
	手数料収入	196	212	△ 16	
	寄付金収入	1,204	904	300	
	補助金収入	3,225	2,824	401	
	(国庫補助金収入)	(2,406)	(1,892)	514	
	(地方公共団体補助金収入)	(817)	(931)	△ 114	
	(その他補助金収入)	(2)	(1)	1	
	資産売却収入	0	35	△ 35	
	付随事業・収益事業収入	398	469	△ 71	
	医療収入	76,067	76,858	△ 791	
	受取利息・配当金収入	50	55	△ 5	
	雑収入	654	709	△ 55	
	借入金等収入	6,000	8,000	△ 2,000	
	前受金収入	1,460	1,284	176	
	その他の収入	20,255	19,959	296	
	資金収入調整勘定(△)	△ 15,886	△ 15,116	△ 770	
支出 の 部	法人負担金収入	10	9	1	
	前年度繰越支払資金	10,870	8,551	2,319	
	合 計	109,880	110,219	△ 339	
	人件費支出	33,623	33,078	545	
	教育研究経費支出	41,721	43,711	△ 1,990	
	管理経費支出	2,428	2,440	△ 12	
	借入金等利息支出	50	42	8	
	借入金等返済支出	1,800	3,800	△ 2,000	
	施設関係支出	13,184	11,047	2,137	
	設備関係支出	7,831	5,561	2,270	
	資産運用支出	6,000	4,000	2,000	
	その他の支出	12,904	12,955	△ 51	
	予備費	40	0	40	
	資金支出調整勘定(△)	△ 17,707	△ 14,319	△ 3,388	
	法人負担金支出	314	306	8	
	翌年度繰越支払資金	7,692	7,598	94	
	合 計	109,880	110,219	△ 339	

平成29年度活動区分資金収支計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円)

	科目	決算額	備 考
教育活動による資金収支	学生生徒納付金収入	5,466	
	手数料料収入	212	
	特別寄付金収入	782	
	一般寄付金収入	123	
	経常費補助金収入	2,574	
	付随事業収入	469	
	医療収入	76,858	
	雑収入	674	
	教育活動資金収入計	87,158	
	人件費支出	33,078	
	教育研究経費支出	43,711	
	管理経費支出	2,431	
	教育活動資金支出計	79,220	
	差引	7,938	
施設整備等活動による資金収支	調整勘定等	△ 315	
	教育活動資金収支差額	7,623	
	科目	金額	備 考
	施設設備寄付金収入		
	施設設備補助金収入	249	
	施設設備売却収入	35	
	減価償却引当特定資産取崩収入	2,000	
	施設整備等活動資金収入計	2,284	
	施設関係支出	11,047	
	設備関係支出	5,561	
	減価償却引当特定資産繰入支出	0	
	施設整備等活動資金計	16,608	
	差引	△ 14,324	
	調整勘定等	1,844	
	施設整備等活動収支差額	△ 12,480	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 4,857	
その他の活動による資金収支	科目	金額	備 考
	借入金等収入	8,000	
	有価証券売却収入		
	第3号基本金引当特定資産取崩収入	1,000	
	退職給与引当特定資産取崩収入	3,000	
	貸付金回収収入	88	
	預り金受入収入	753	
	仮払金回収収入	31	
	仮受金受入収入	0	
	建物等賃貸借差入保証金収入	11	
	法人負担金収入	9	
	小計	12,892	
	受取利息・配当金収入	55	
	収益事業収入	0	
	過年度修正収入	35	
	その他の活動資金収入計	12,982	
	借入金等返済支出	3,800	
	有価証券購入支出		
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	1,000	
	退職給与引当特定資産繰入支出	3,000	
	収益事業元入金支出	0	
	預り金支払支出	758	
	仮払金支払支出	30	
	仮受金支払支出	0	
	奨学貸付金支出	125	
	法人負担金	306	
	小計	9,019	
	借入金等利息支出	42	
	過年度修正支出	9	
	その他の活動資金支出計	9,070	
	差引	3,912	
	調整勘定等	△ 8	
	その他の活動資金収支差額	3,904	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 953	
前年度繰越支払資金		8,551	
翌年度繰越支払資金		7,598	

貸 借 対 照 表

(平成30年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	88,408	80,847	7,561	固定負債	33,222	25,969	7,253
有形固定資産	83,742	74,229	9,513	長期借入金	10,150	6,000	4,150
土地	9,197	9,197	0	長期未払金	4,791	2,542	2,249
建物	52,271	40,058	12,213	長期預り金	10	10	0
構築物	1,547	1,546	1	退職給与引当金	18,271	17,417	854
教育研究用機器備品	12,948	11,111	1,837				0
管理用機器備品	333	382	△ 49				0
図書	3,728	3,706	22	流動負債	14,495	14,244	251
車輛	29	17	12	返済期限が1年以内の長期借入金	1,850	1,800	50
建設仮勘定	3,689	8,212	△ 4,523	未払金	10,608	10,431	177
特定資産	4,000	6,000	△ 2,000	前受金	1,284	1,254	30
退職給与特定資産	3,000	3,000	0	預り金	753	759	△ 6
減価償却特定資産	0	2,000	△ 2,000	仮受金	0	0	0
第3号基本金引当特定資産	1,000	1,000	0				
その他の固定資産	666	618	48				
借地権	10	10	0				
電話加入権	12	12	0	負債の部合計	47,717	40,213	7,504
施設利用権	28	23	5				
温泉利用権	1	1	0				
建物等賃貸借差入保証金	150	140	10	純資産の部			
奨学貸付金	384	347	37	科 目	本年度末	前年度末	増 減
有価証券	20	20	0	基本金	160,774	155,431	5,343
長期預け金	20	20	0	第1号基本金	154,460	149,148	5,312
教育研究用ソフトウェア	27	26	1	第3号基本金	1,000	1,000	0
管理用ソフトウェア	14	19	△ 5	第4号基本金	5,314	5,283	31
流動資産	23,456	23,524	△ 68				
現金預金	7,598	8,551	△ 953				
未収入金	14,022	13,294	728				
貯蔵品	402	391	11	繰越収支差額	△ 96,627	△ 91,273	△ 5,354
前払金	1,623	1,475	148	翌年度繰越収支差額	△ 96,627	△ 91,273	△ 5,354
仮払金	30	31	△ 1				
徴収不能引当金	△ 219	△ 218	△ 1	純資産の部合計	64,147	64,158	△ 11
資産の部合計	111,864	104,371	7,493	負債及び純資産の部合計	111,864	104,371	7,493

(端数未調整)

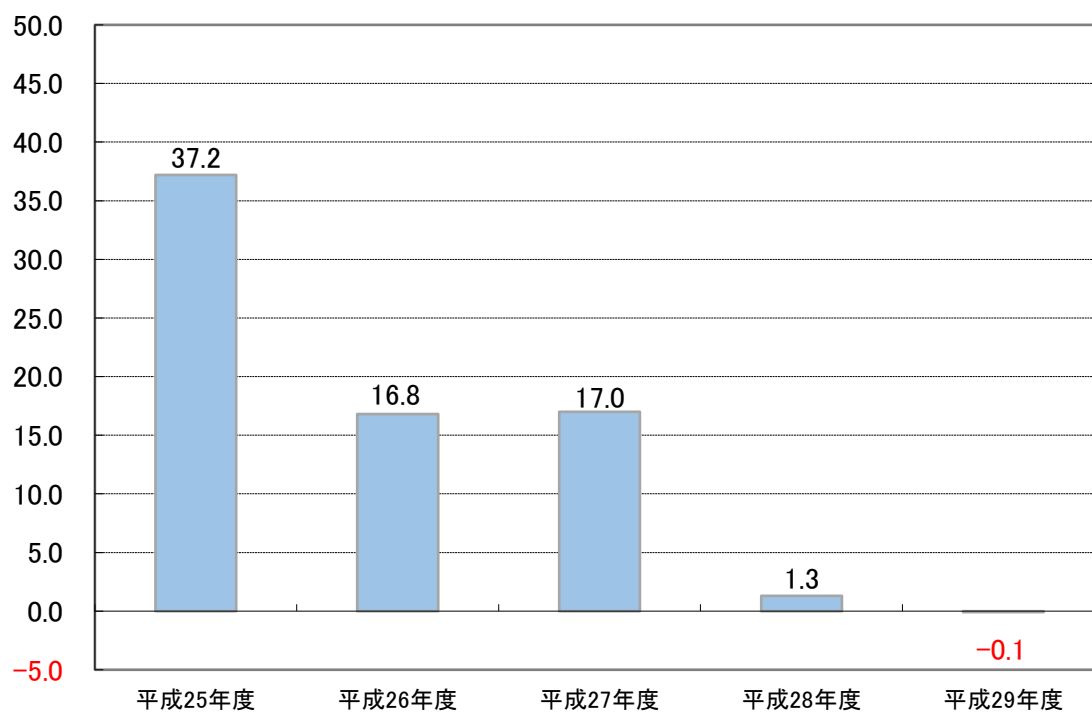
[解説]

この表は年度末における財務状態を表わしたもので、B／S（バランスシート）とも言われます。資産とは、教育研究に使用または運用される大学の財産であり、負債とはその財産の調達資金のうち、将来返さなければならないお金（他人資金）です。

基本金と繰越収支差額は純資産と言い、調達資金のうち外部へ返さなくてもよいもので、大学に完全に帰属する資金総額であり、正味財産（自己資金）と呼ばれています。

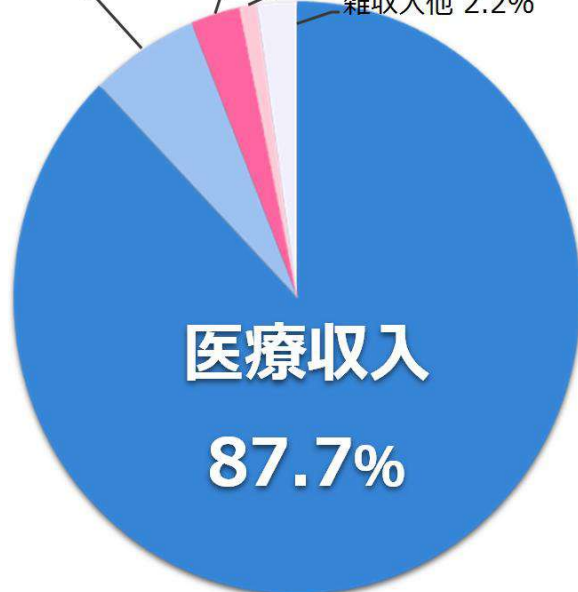
単位: 億円

基本金組入前当年度収支差額推移表



平成29年度決算 事業活動収支の科目別構成比

学生生徒等納付金 6.2%
経常費等補助金 2.9%
寄付金 1.0%
雑収入他 2.2%

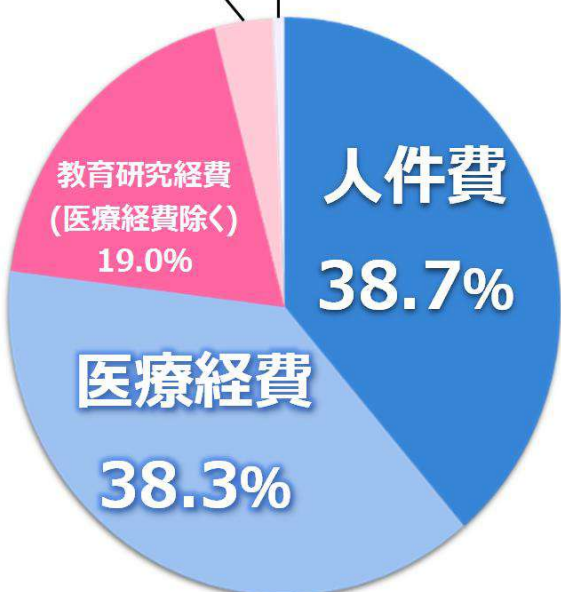


事業活動収入 87,634百万円

法人負担金他 0.6%

管理経費 3.4%

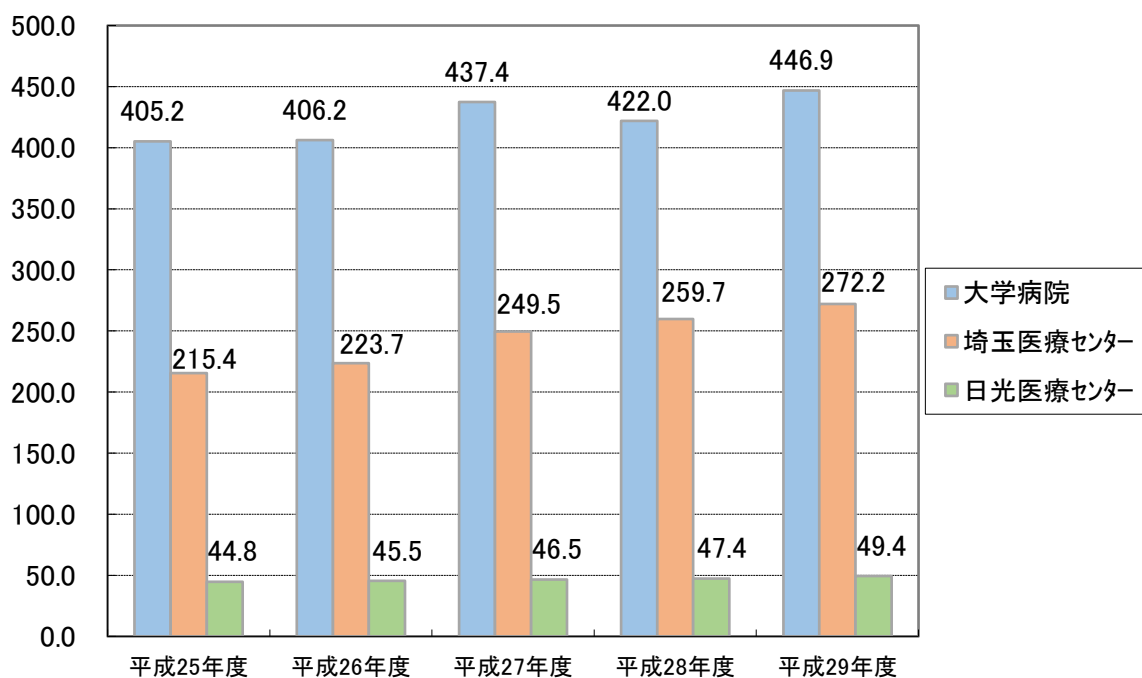
教育研究経費
(医療経費除く)
19.0%



事業活動支出 87,645百万円

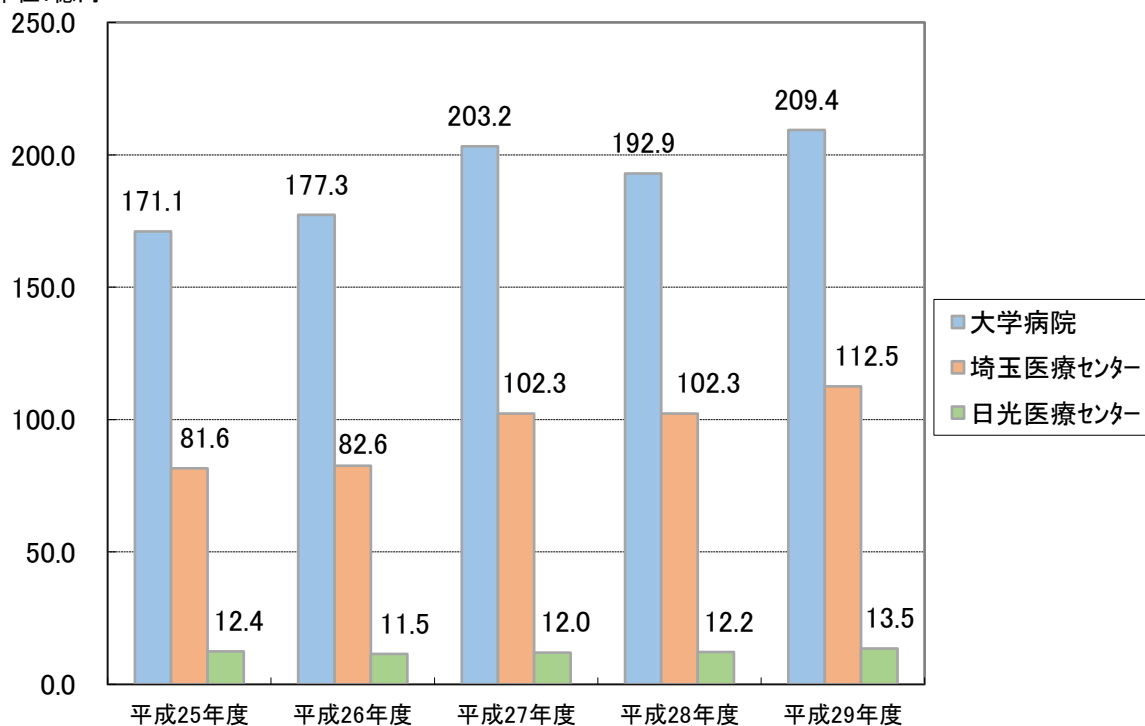
医療収入推移表

単位: 億円



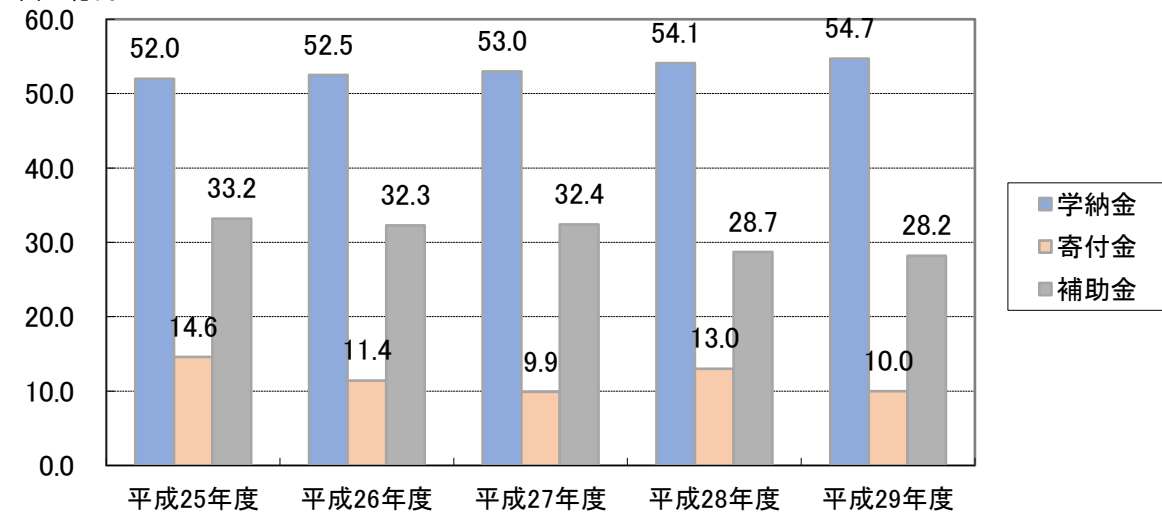
医療経費推移表

単位: 億円



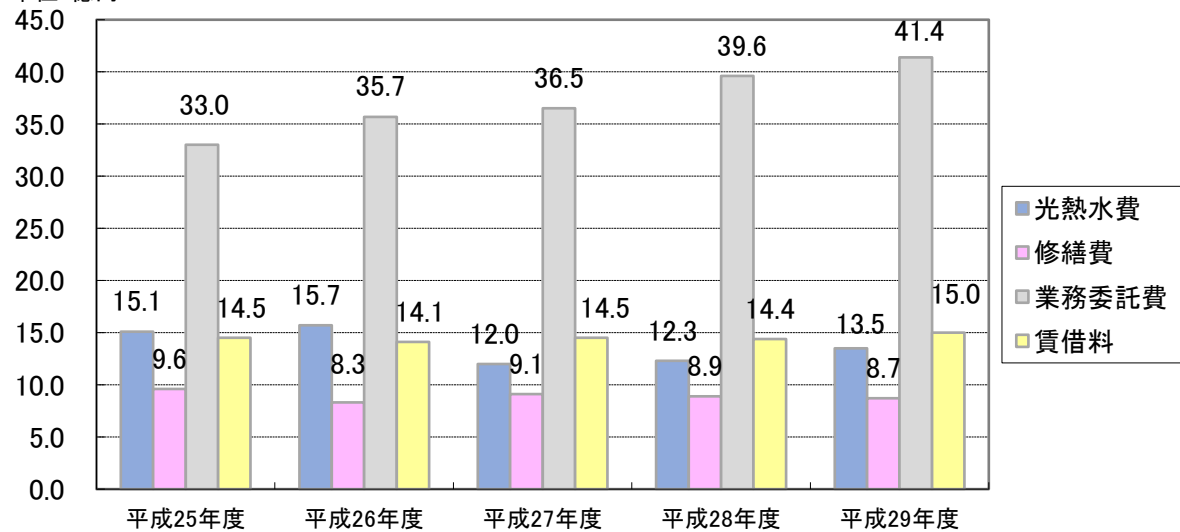
学納金・寄付金・補助金の収入推移表

単位: 億円



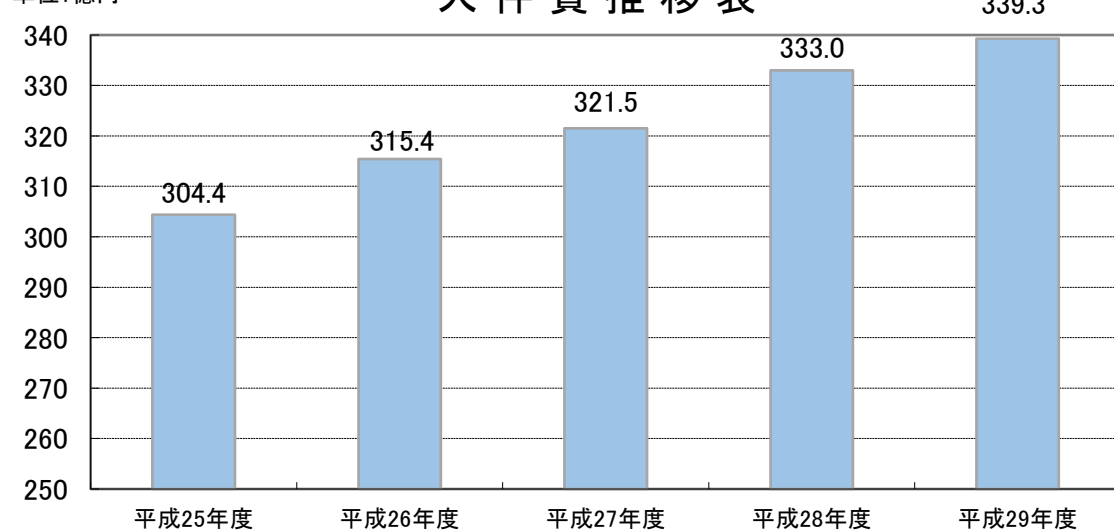
主な教育研究経費(医療経費除く)

単位: 億円



人件費推移表

単位: 億円



単位: 億円

施設・設備関係支出推移表

